



合同防災訓練の様子
上) 府内団体から応援派遣された給水車
左) 覆配水池(余部上)で水を補充
右下) 仮設給水栓で給水
左下) 仮設受水槽へ水を補給



備えあれば憂いなしということわざがあるように、普段から災害時のために水を備えることは大切です。人は水を飲まなければ生きていけません。市では地震に強い水道管に入れ替えたり、継続して訓練を行ったりすることで、災害に備えています。飲料水を備蓄しておく、運搬用のポリタンクを準備するなど、今からできる備えを始めましょう。

合同防災訓練を開催

市が加盟している日本水道協会京都府支部では、災害や事故など大規模な断水の発生時に、広域で連携して迅速な相互応援ができるよう、毎年合同防災訓練をしています。今年度は昨年11月11日に文化公園多目的広場な

どで実施。府内1府15市8町の計24団体が参加しました。若狭湾内断層地震が発生し市内の広範囲で断水が起きたことを想定して、対策本部訓練や各団体との連携のもと、応援要請、受け入れ体制の確認、給水車の応急給水などを実施しました。

今後、他団体の受け入れ、他団体への応援を想定した訓練を重ねることで相互応援体制を強化し、いざという時にも市民生活に欠かせないライフラインを確保し、迅速に対応します。



▲4市町で共同使用する舞鶴市の加圧式給水車

加圧式給水車の共同使用

平成30年に舞鶴市、宮津市、伊根町、与謝野町の4市町で加圧式給水車の共同使用に係る協定を締結しました。災害、事故など大規模な給水活動が

必要になった場合や他市町へ派遣する場合など、共同で使用することで給水車を有効活用しています。

加圧式給水車は加圧ポンプを装備した給水車で、病院や福祉施設など、高層建物の屋上等にある受水槽や車が近寄れない場所への給水が可能であり、短時間で効率的に給水活動ができます。

家庭でできる水の備え

大きな災害が発生すると広い範囲で断水する可能性があります。普段から家庭でも水の備えをしておきましょう。

◆飲料水

1人が1日に必要な飲料水は3リットルといわれています。災害に備えて3日分程度の飲料水を備蓄しましょう。

◆水を入れる容器

水道水は塩素の消毒効果で冷暗所で3日程度の保存ができます。

緊急時に給水車から水を運ぶための容器の準備が必要です。10リットル程度の大きさで、持ち手がついたポリタンクがあると便利です。

◆災害が発生したら

身の安全が確認できたら、水道水が出るかどうか確認しましょう。

災害発生直後は水が出て、後で断水になることがあります。バケツや風呂の浴槽などにくみ置きをしましょう。



▶10リットルのポリタンク
▶風呂の浴槽へくみ置き



▲4月上旬には一般公開される与保呂浄水場

水道施設紹介 - 与保呂浄水場 -

与保呂浄水場は、舞鶴市で上福井浄水場に次ぐ大きさの浄水場であり、緩速ろ過という生物ろ過膜を使った方式で水を浄化し、1日約6,000トンの水道水を作っています。浄水場の水源となる桂貯水池や岸谷貯水池は、旧海軍によって築造され、国の重要文化財に指定されています。静かな深い緑に包まれた景観の中で、きれいな水が蓄えられており、築造から変わらず水道水の源としての役割を果たしています。また、春には与保呂川沿いの桜とともに、浄水場内にもたくさんの桜が咲き誇り、例年4月上旬に一般公開しています。



▲1900(明治33)年に築造された桂貯水池えん堤

上下水道に関する問い合わせ先

【受付時間】平日 8時30分～17時15分

問い合わせの内容	電話番号	担当
●水道料金、下水道使用料 ●水道の使用開始・中止・検針など	62・1632	お客様サービスセンター
●にごり水、漏水、水道メーター交換 ●水洗便所等改造資金貸付 ●水道給水、下水道排水設備の相談など	66・1028	経営企画課

◆月に1度はクリーンますの掃除を

クリーンますは、1か月に1回程度の掃除を推奨しています。掃除しないと油やごみが固まって家庭の排水が流れにくくなります。油やごみは取り出し、一般ごみ(可燃)として処分してください。

◆宅内の汚水ますのふたを開けないで

宅地内にたまった雨水などを流すために、宅内の汚水ますのふたを開けないでください。雨水などを流すと下流の家屋では、下水道管があふれ、宅内の下水が流れなくなります。また、宅内の汚水ますのふたが破損していると、雨水などが流れ込みますので修理してください。



上)クリーンます
下)宅内の汚水ます